



東蒲だより

大田区立東蒲小学校
令和5年10月31日

<http://www.ota-school.ed.jp/touho-es/>

Tel 03-3732-9635 Fax 03-3732-9636

11月の目標

生活「みんなで協力して仕事をしよう」
保健「しせいを正しくしよう」
給食「感謝して食べよう」

11月の学校行事

SC…スクールカウンセラー来校日

いろいろな人の力をお借りして

校長 鈴木 裕二

猛暑、酷暑が過ぎ去り、東の間の秋を満喫している今日この頃です。

2学期は、教室を飛び出して様々な体験を行う校外学習、生活科見学、社会科見学、移動教室がたくさんあります。また、専門的な見識のあるゲストティーチャーをお招きしての出前授業が充実しています。1年生はどんぐりなどの秋を見付けに公園へ。2年生は町探検で東蒲田や梅屋敷の商店街へ。3年生は町工場、スーパーマーケット、消防署、社会科見学で大田区内巡りへ。4年生は地域の歴史あるお茶屋さん（蒲南茶荘）、中央防波堤ごみ処理場、水の科学館などの都内巡り、自治体間交流活動で稲城市へ。5年生はバンダイ・ナムコ、森永製菓の出前授業、社会科見学で味の素、放送ライブラリーへ。6年生は初めての宿泊行事であるとうぶ移動教室、社会科見学で国会議事堂などへ。さらに、大相撲城南大田場所観戦、WBSC女子U15ソフトボールワールドカップ2023観戦もありました。今月は劇団による演劇鑑賞教室があります。いろいろな人の力をお借りして、子どもたちが様々な体験をできるように折衝・計画をしてきました。

一方、学校の内部での連携も活発に行っています。異学年交流であるたてわり班活動、3年生が1年生に読み聞かせをする、音楽会で互いに鑑賞し、感想を伝え合う、4年生と5年生がアプリコでの連合音楽会にて演奏するなど日常的に、意図的に交流を図っています。そうすることによって、子どもたちは、相手意識、目的意識が明確になり、学習意欲の高まりが見られます。

学校は、限られた人的資源（教職員）を最大限に活用していかなければなりません。特に、本校は小規模校ですので顕著です。このように、いろいろな人の力をお借りして、外部連携、内部連携を一層推進し、教職員が協力し、ときには子どもたちの力も大いに借りながらよりよい教育を目指していきます。学校が教育課程を社会に開き、地域・家庭とともに東蒲小学校の子どもたちを育てていきたいと思えます。今後とも、ぜひお力をお貸しください。ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

1	水	希望制個人面談 4時間授業	
2	木	希望制個人面談 4時間授業	
3	金	文化の日	
4	土	東京都教育の日	
5	日		
6	月	全校朝会 安全指導 委員会活動 読書週間始	
7	火	教職員による読み聞かせ（20分休み）	
8	水	4時間授業 小中一貫教育の日	
9	木	児童集会	
10	金	読書週間終	SC
11	土	学校公開日 道徳授業地区公開講座 土曜補習 地域教育連絡協議会	
12	日		
13	月	全校朝会 避難訓練（津波） クラブ活動	
14	火		
15	水	たてわり班活動 4時間授業	
16	木	体育朝会 就学時健康診断 4時間授業	
17	金	演劇鑑賞教室	SC
18	土		
19	日		
20	月	全校朝会 サポートルーム授業参観日	
21	火	稲城市校外学習（4年）	
22	水	サポートルーム授業参観日	
23	木	勤労感謝の日	
24	金		SC
25	土		
26	日		
27	月	全校朝会	
28	火		
29	水	4時間授業（5年1組のみ5時間授業）	
30	木		

○2学期の教材費の引き落としは、11月15日（水）です。前日までに、ゆうちょ銀行の口座にご入金をお済ませられるよう、よろしくお願いいたします。

11月から帰宅時刻（家に着く時刻）が午後4時30分となります。ご家庭でも声掛けをお願いします。

代表委員会

担当 海堀 志織

自分から挨拶をする子が少ないな…、挨拶をしても返ってこなくて寂しいな…そんな声が子どもたちや教職員から聞かれたので、代表委員会が中心となって9月末から10月末まで挨拶運動を行うことにしました。まずは、一週間やってみてどうだったかを振り返ると、子どもたちは「前は挨拶をしてくれなかった子が返してくれた!」「少しずつ挨拶をしてくれる人が増えてきた。」と挨拶運動の効果を実感しているようでした。初めは代表委員会の子もただけでしたが、今では他の子どもたちも集まって一緒に挨拶をしています。

挨拶は、人と人との心のつながりを深め、一日を気持ちよく過ごすための大切なものです。気持ちのよい挨拶があふれる学校になるように、児童の主体的なアイデアを生かしていきます。



サポートルームの様子

サポートルーム主任 山田 隆一

今年度、東蒲小サポートルームは巡回教員2名、専門員各校1名ずつで教室を運営しています。東蒲小サポートルームは、東蒲小を拠点校として近くの大森第三小学校と蒲田小学校を巡回しています。今年度現在、3校合わせて36名のお子さんをお預かりしています。

サポートルームに通うお子さんたちの願いはさまざまです。「集中して話を聞けるようになりたい」「友達と仲良く生活を送りたい」「自分に合った学習の仕方を身に付けたい」。サポートルームでは子どもたちのそれぞれの願いを叶えるため、個に応じた指導計画を立て、個別や小集団の指導に週1～2時間取り組んでいます。小集団指導では、グループの課題に応じてトランプやUNOを使ったカードゲームや、ボードゲームを使って子どもたちが話し合い、協力して問題解決をしていく活動などを行うこともあります。これらの活動では勝敗の受け入れに加えて、ルールを守ることや、相手へのふさわしい言葉かけの仕方、話をしたり聞いたりするときの態度などについても学びます。また、子どもたち一人一人のもつ良さをたくさん発揮できる場所になるよう、3校で指導をしています。

6年生の様子～とうぶ移動教室～

担任 海堀 志織

6年生にとって最初で最後の特別な移動教室となりました。1日目は、ぶどう狩りやキャンプファイヤー、ナイトハイクを行いました。ぶどう狩りでは、たくさんの種類のぶどうやお土産を用意いただき、農園の方の温かい心遣いに感銘を受けていました。キャンプファイヤーでは、踊ったり、ゲームをしたりした後、火を囲んで一人一人の思いを伝え合い、絆を深めました。2日目は、標高が高い土地ならではの美しい雲海を見ることができ、気持ちの良い朝を迎えることができました。

宿泊学習を通して、友達と協力して何かを行う喜びや難しさを学ぶことができたのではないかと思います。卒業までの残り5か月間を子どもたちにとって充実したものとなるよう、指導していきます。

以下、子どもたちが移動教室の思い出を俳句や短歌にしました。とても素敵な作品ができたので、一部紹介します。

- ・暗闇に ゆらめく炎と 友の顔
- ・愛猫の 顔を描いた オニグルミ
- ・雲海や 儂く過ぎる 夢の時間
- ・多発する 心霊現象 古民家にて
- ・秋の朝 雲海と同じ 白い息
- ・友達の 声で寝れない 東御の夜
- ・部屋の中 外は暗く 心と見ると 夜空いっぱい 満天の星
- ・雲海に 響く鶯の 鳴き声に 我を忘れて 息を呑みこむ

